

# 瀬谷区制50周年記念事業



あなたのとおきの「お宝」を鑑定してもらいませんか。時代、ジャンルは問いません。これはという「お宝」を是非応募ください。

## あなたのお宝大募集

美術品から、お菓子のオマケやおもちゃまで「なんでも」ご応募ください。

**応募方法** 右面の申込書に必要事項をご記入の上、鑑定品の写真を添付し、下記の宛先まで郵送してください。  
※お一人様何点でもご応募できます。  
(申込書は鑑定依頼品1点につき1枚必要です。)  
※収録予定の2019年9月8日(日)に出場可能な方に限ります。  
※古物売買免許のある方は、ご遠慮いただきます。  
※ご応募いただいた申込書類・写真は返却いたしませんので、ご了承ください。  
※鑑定依頼品の現物は絶対にお送りいただかないようお願いいたします。

**添付写真** ①全体像がわかる写真  
②主要な部分(絵柄や文字等)のアップ写真  
③銘や落款などの写真  
上記3点以上の写真を添付してください。

**応募締切** **2019年6月21日(金)必着**

**選考方法** テレビ東京の番組担当スタッフが応募書類を詳細に検討して選考いたします。  
※選考の途中経過に関しましては区では一切お答えできません。

**発表** 採用の可能性のある方にはテレビ東京の番組スタッフから直接連絡があります。  
(連絡がない場合は不採用となり鑑定いたしません。)

**宛先** 〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190 瀬谷区役所「なんでも鑑定団」お宝担当

●主催/瀬谷区制50周年記念事業実行委員会  
●共催/横浜市瀬谷公会堂

## 観覧募集!

観覧無料

- 開催日(予定) **2019年9月8日(日)**
- 場所(予定) 横浜市瀬谷公会堂
- 時間(予定) 開場▶12:00 開演▶13:00

観覧ご希望の方は、**往復ハガキ**に必要事項を記入の上、ご応募ください。応募者多数の場合は抽選となります。当選したハガキ1枚につき2名様まで入場できます。  
※往復ハガキ以外のご応募は無効となります。

### ●応募方法(往復ハガキの記入要領)

往信おもて 〒246-0021 横浜市瀬谷区 二ツ橋町190 瀬谷区役所 「なんでも鑑定団」 観覧担当	返信うら ※ここは白紙のまま まで	2名希望される場合は、2名分の氏名をご記入ください。
返信おもて □□□□□□□□ 観覧希望者の郵便番号 住所 氏名 □□□□□□	返信うら 観覧希望氏名(フリガナ) ① ② ①の連絡先住所: TEL:	

●応募締切日/2019年7月4日(木) 当日消印有効  
●抽選結果発表/2019年8月中旬(返信ハガキにて)

### お問い合わせ

横浜市コールセンター(毎日8時~21時)  
TEL 045-664-2525 / FAX 045-664-2828

担当:瀬谷区制50周年記念事業実行委員会事務局(区役所 庶務係) ☎045-367-5611

# 開運なんでも鑑定団 瀬谷区制50周年記念事業 出張!なんでも鑑定団 in 横浜・瀬谷区

## 鑑定出場申込書

2019年 月 日

鑑定品目	自己評価額		円
由来・エピソード記入欄 (お宝と持ち主のさまざまなエピソードやいきさつを書いてください。) 例えば...●手に入れたときの出来事やいきさつ ●代々伝わるお宝の由来やエピソード ●鑑定を依頼しようと思ったきっかけ ●数奇な運命の結果わが家にあるといったようなことを書いてください。 価値を知りたいだけの応募は不採用になる場合が多いようです。			
(フリガナ) _____ 住 所 (〒 _____ ) _____			
氏 名		( 歳 )	職 業
電話番号 (市外局番 _____ ) _____		特技、趣味	

※記載いただきました情報は番組制作のためだけに使用し、番組制作関係者以外の第三者への情報開示は一切いたしません。

## 写真添付箇所

(のりでしっかりと貼り付けてください。)

◎枚数が多い場合は、全体像の写真を添付していただき、残りの写真は、お手元の紙に貼り付け、この申請書にホチキスどめしてください。

◎採用の可能性のある方にはテレビ局の番組スタッフから直接連絡があります。(連絡がない場合は不採用となり鑑定いたしません。)

◎鑑定依頼品の現物は絶対にお送りいただかないようお願いいたします。

### 添付写真のお願い

- ★写真はお宝全体がはっきり写っているもの。(3枚以上)
- ★玩具は製造メーカーの表示部分のアップ。箱も保存されていればその写真も添付してください。
- ★書面は落款(書名と印)の部分、陶器は底面の銘の部分のアップも。
- ★共箱のあるものは箱全体、標題、箱書きなどのアップも。
- ★切手、コインなど小さなお宝は、なるべく大きく。